



『壇上伽藍』

がらん
伽藍とは、僧侶が集まって修行する清らかで広い静かな場所を指す言葉。

語源はサンスクリット語（梵語）の「サンガラマ」で、この言葉を音写して「僧伽藍摩」「僧伽藍」となったものが略され、「伽藍」になったとされています。

高野山を修禅の場と位置付けた弘法大師空海が真っ先に着手したのが伽藍建設の計画。

その志は弟子たちに受け継がれ数多の年月を経て完成したのが、高野山の二大聖地のひとつ、壇上（場）伽藍です。壇場とは修法を行う曼荼羅道場を表す言葉。高野山内でも高い台地にあるため、現在は壇上伽藍と書かれることが多いです。

- ひびき ① 年頭所感
- ② 年頭メッセージ
- 組合行事 ⑨ 第35回電気工事業全国大会(東北・福島大会)
- 青年部 ⑩ 関西電気工事工業会青年部連合会 第13回会員大会
- トピックス ⑪ 広報誌の新たな取り組み〔兵庫県電気工事工業組合〕
- ニューリーダー ⑫ ニューリーダー紹介
- ひろば ⑬ 滋賀県^{あいしょうちょう}愛荘町ってどこ？



『年頭所感』



関西電気工事工業会 会長
京都府電気工事工業組合
理事長 植田 隆夫

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましてはご家族・又社員の方々と共に清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。4年前から続く新型コロナウイルス感染症は「5類」に移行され、多少減った感じですが季節性インフルエンザの流行で感染拡大が拭いきれない状況が続いています。又世界に目を向けるとロシアのウクライナ侵攻がまだまだ長期的であり、新しい火種のパレスチナ自治区ガザ地区が、今またイスラエルに攻撃されています。地区最大のシファ病院は電気や水の供給を失い、乳児数十人が命綱とする保育器も止まっています。ガザでの子供の死者はすでに4500人超。子供たちに一刻も早く水を、食料を、安全を、町では冷蔵庫が使えず、頼りの缶詰も尽きかけているのが今の世界の現状です。

当工組においては昨年4月より高圧引込開閉器操作業務を関西電力送配電(株)様より受託し組合員各位にて実施しています。

又電気工事業界の課題については、「人材確保育成の総合的な対応」が求められています。さらに現場でのデジタル技術の対応、2024年4月からの時間外労働の上限規制の適用など新しい経営の基盤を固めなければなりません。よって組合員に必要とされる事業を役員の皆様と協議し展開していく予定です。

そして昨年10月26日福島県にて第35回電気工事業全国大会が開催され、式典において優良事業の金賞を「京都電気安全サービス京都調査センターの業務改善」にて受賞することが出来、京都工組のPRに大いに貢献してくれました。令和6年の干支は「辰年」です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だと言われているので既存の事業等をしっかりと継続してまいります。

結びになりますが、組合員各位の事業の弥栄を御祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





令和6年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

日頃より、産業保安行政に対する御理解、御協力に感謝いたします。

昨年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行し、個人の自主的な取組を基本とする対応に変更となりましたが、引き続き感染症予防には注意しながら日々の業務遂行に努めなければなりません。

自然災害については、昨年8月に発生した台風7号が近畿地方に接近・上陸した際、近畿支部内において災害対策本部を立ち上げ、情報収集等の初動対応に備えました。

幸い近畿支部管内では大きな災害は発生していませんが、過去においては地震、台風による自然災害により電力、ガス設備に大きな被害があったことから、これまでの大規模自然災害に対する他の地域を含む産業保安での対応を教訓に、この一年を振り返り、各産業保安分野について新年の活動方針を示します。

電気の保安分野については、昨年は、電気事故が70件程度発生し、そのうち感電負傷事故が4件発生しました。感電負傷事故の要因は、保護具の未着用や検電せずに作業を行う等の作業準備・手順不良による事故が発生しています。

関係者には、電気事故防止に向けた取組や保安意識の向上が一層求められているところです。当支部といたしましても事故の原因分析や実機調査結果の周知等により、事業者の保安意識向上のための啓発活動を進めてまいります。

一方、保安人材の不足や保安技術の進展、太陽電池発電等の再生可能エネルギー発電設備の増加等、電気保安を巡る環境も大きな変革期を迎えています。社会的な電気保安人材の必要性が高まる中、

IoTやビッグデータ等のデジタル技術を活用した点検業務や遠隔監視等によるスマート保安の推進に取り組むことにより、効果的・効率的な保安の実現を図り、電気主任技術者等の保安人材の育成・確保を目指します。

また、近年の多発する自然災害に対して、自治体や関係機関、電気事業者等との連携を図り、停電の早期解消等の社会的要求に対して、迅速かつ機動的に復旧を行い、安心・安全な電気保安の維持・確保に努めてまいります。

都市ガスとコミュニティガスの保安分野については、昨年は70件程度の事故が発生し、ガス工事以外の工事（いわゆる他工事）や導管等の経年劣化に起因する事故が目立ちました。LPガスの保安分野については、昨年30件程度の事故が発生し、盗難、他工事に起因する事故、販売事業者の誤確認及び一般消費者の誤操作による事故が発生しましたが、中でもCO中毒による消費者の事故が6年ぶりに発生しております。

当支部では、2021年4月に公表された「ガス安全高度化計画2030」及び「液化石油ガス安全高度化計画2030」の方針に基づき、両分野での2030年の死亡事故ゼロに向けた安全・安心な社会を実現するために、今後ともガス事業者、関係機関等と連携し事故防止対策に取り組んでいきます。特に、他工事事業者や一般消費者等に対する周知活動、注意喚起について引き続き支援するとともに、経年導管対策についてもガス事業者の対策が着実に進むよう指導を継続します。さらに、自然災害に伴う事故への対策について、事業者への啓発、指導に努めてまいります。

高圧ガスの保安分野については、昨年は、130件程度の事故が発生し、そのうち作業員が窒素ガスを誤吸引したことによる死亡事故が1件発生しました。また、火薬類の保安分野については、10件程度

●年頭メッセージ

の事故が発生し、そのうちコンサート中に演出効果用の火薬を仕込んでいた鉄管の破裂・飛散により、3名が重傷を負う事故が発生しました。当支部では、両分野の事故原因の分析や、管内各府県等との密接な連携により、事故の更なる減少に努めてまいります。また、コンビナート防災関係についても、引き続き府県等の関係機関と連携し、事故防止に取り組んでまいります。

鉱山の保安分野については、昨年は鉱業権者、鉱山労働者をはじめとする関係者皆様の一丸となった取組により、無災害・無鉱害となりました。しかし、全国的には死亡災害が2件発生し、罹災者数も昨年を上回る状況となっております。当支部では、昨年3月に公表された「第14次鉱業労働災害防止計画」及び「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する第6次基本方針」に基づき、危害関係では、リスクアセスメントによる必要な対策の構築と鉱山保安マネジメントシステムの定着度・有効度を着実に向上

させ、関係者自らが積極的に保安水準の向上に努められるよう支援してまいります。また、鉱害関係では、鉱煙・坑廃水等の適切な管理を指導するとともに、鉱害防止事業の着実な実施を引き続き支援してまいります。

総括しますと当支部は、本年も「強い使命感」「科学的・合理的な判断」「業務執行の透明性」「中立性・公正性」を行動規範とし、「国民の安全の確保と環境の保全」の実現を目標に掲げ、各産業保安分野について、自主保安を基本とし、関係法令の適正な執行、関係機関との連携、事故情報の提供など各種施策を通じて産業事故を撲滅し、皆様とともに安全・安心を基盤とした地域全体の発展に貢献できるよう、職員一人一人が全力で取り組んでまいります。

結びとして、令和6年が皆様にとって良い年となりますよう祈念しまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



2024年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。貴工業会の皆さまにおかれましては、平素より弊社事業運営や関西内線工事研究会の活動に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

まず、昨年の弊社に関する不祥事により、貴工業会の皆さまに多大なご迷惑をお掛けしたこと、改めてお詫び申し上げます。調査業務等で関係する皆さまにコンプライアンスの徹底についてお願いしている中、コンプライアンス不遵守の事象を立て続けに発生したことは痛恨の極みであり、大変申し訳なく、お詫びの言葉もございません。

弊社は、今回の不適切事象を真摯に受け止め、監督官庁のご指導を賜りながら適切に対応するとともに、

社長を委員長とする調査検証・改革委員会において、本改善計画の着実な実行および実効性向上に向けた議論・検証を引き続き行ってまいります。皆さまにおかれましても、コンプライアンスについて疑義や不適切な事象を見受けられましたら、速やかに是正に向けた取り組みを推進して参りますので、遠慮なく弊社まで情報共有いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、3年もの間猛威を振るっておりました新型コロナウイルスに対し、貴工業会の皆さまには、社会や産業を支えるエッセンシャルワーカーとして、感染対策に万全を期しつつ、電気設備工事の実施や調査業務を通じ各地域において、電気をお使いになるお客さまの安全、安心の確保に

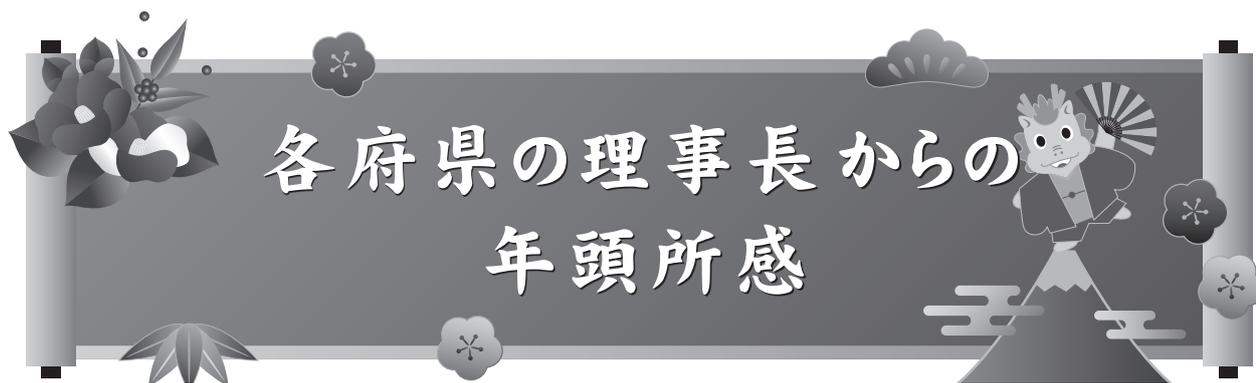
努めていただきました。重ねて御礼申し上げます。昨年、感染法上の分類が5類に移行し、様々な制約が解除されましたが、予断を許さない状況でございますので、引き続きご対応のほどよろしく願いいたします。

さて、電気事業を取り巻く情勢としましては、昨年は弊社にとって新たな託送料金制度が始まるターニングポイントとなる年でもありました。この制度の導入目的のひとつに「エネルギー供給の強靱化」が掲げられ、再エネ電源の連系拡大や近年激甚化する自然災害への備えとして、電力インフラのレジリエンスを強化する取り組みが求められています。弊社は、お客さまや社会の変化するニーズに対応するため、電気の安全・安定供給はもとより、光通信網やセンサー技術を用いた再エネ接続量の拡大やレジリエンス向上、スマートデバイスやドローン等を活用した効率的な設備保全の実施、AIやビッグデータ解析による設備高経年化への対応、それらを支える人財への技術継承等の施策を計画し、確実に進めて参ります。

今後、EVを初めとするあらゆる分野での電化、蓄電池技術の進展、再生可能エネルギーの拡充、働き方改革・リモートワークにより加速するデジタル化などにより、社会を支える基幹エネルギーである「電気」の重要性はますます高まり、同時に、我々電気事業に携わる者への社会の皆さまの期待も高まると思われます。

今後とも電力・エネルギー業界を支えるパートナーとして、貴工業会の皆さまと連携しながら、社会の皆さまから預かる期待・信頼に応えるため、新年度も力強く取り組んでまいります。貴工業会におかれましても、長年培われた高い技術力を基に、新技術への対応、電気事故の未然防止に尽力いただくとともに、関西一円の自治体・企業・住民のご期待に応えていただきたいと思っております。

最後になりましたが、本年が貴工業会にとって実り多き年となりますとともに、皆さまの益々のご発展・ご健康と安全を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

大阪府電気工事工業組合



理事長 高津 昇



『働き方改革! ~ work-style reform ~』

令和6年(2024年)の新年にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方にはお揃いで健やかな新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

旧年中は、大阪府電気工事工業組合・並びに技術協会の活動に格別のご支援・ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスもようやく落ち着き、昨年は「阪神タイガース」の38年ぶりの優勝!

「オリックスバファローズ」のパ・リーグ3連覇! サッカーJ1リーグの「ヴィッセル神戸」の初優勝、プロゴルフでは山下美夢有選手(寝屋川市出身)の2年連続賞金女王など、関西のスポーツ界の活躍は目覚ましいものがありました。

一方、関西の経済状況は、と言いますと、海外からのインバウンド需要は、ほぼコロナ前に近い水準に戻って来ています。また、特に我々に関連の大きい電気メーカー各社も増収増益と好調に推移し、設備投資も増加傾向にあります。更に、大

阪は「大阪・関西万博」の建設が急ピッチに進み始めており、明るい兆しが多くあります。

そのような中、我々業界の今年の課題は、引き続き「人手不足」や「従業員の高齢化」です。さらに、今年4月からは建設業の『働き方改革』が本格導入となります。

当然我々、電気工事業界も「働き方改革」を行い、効率と生産性向上を図っていかねばなりません。その為に、組合員相互の連携やDX技術の導入などが必要不可欠になって参ります。当組合としても、IT技術・DX技術の導入研修や電気工事に必要な技術・法令等の情報をタイムリーに提供して参ります。

また、若手入職者の研修や女性活躍推進なども積極的に取り組んで参ります。

組合員の皆様も、時間外労働など『働き方改革』を意識し、働きやすい環境づくりを考えて参りましょう。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞご支援宜しくお願い申し上げます。





理事長 堀口 繁

年頭所感



兵庫県電気工事工業組合

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。組合員各位に於かれましては清々しい新年をお迎えの事とご拝察お喜び申し上げます。

2024年は、辰年の中でも甲辰「きのえたつ」に当たります。甲は、生命や物事の始まりを表し辰は活気にあふれ、強運やお金に困らないといった言い伝えがあるようです。

過去の辰年には、東京オリンピックの開催や、青函トンネルの開通、瀬戸大橋の完成、東京ドームの完成、東京スカイツリーの完成など大きなイベントや大型建造物の完成などがあったようで、2024年も新紙幣の発行が予定されております。

そんな、辰年ですが、電気工事業界にとっても良い年にしなければなりません。

国の働き方改革の指導に対しても、組合をはじめ各企業の皆さんも大きな課題となっているので

はないでしょうか？

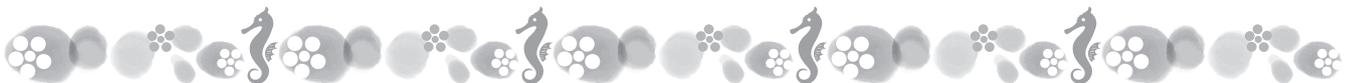
全日電工連でもDX化を推奨致しておりますように、DXを巧みに利用していく事が大事と考えます。人手不足等の問題解決にも、各作業の効率化を図り、時代に沿った仕組み作りが必要です。

また、全国の各工組に於いては、送配電事業者からの受託事業が無くなっていくなど運営が厳しくなっています。

組合運営の安定には、組合運営の成果が出せる体制の構築が必要であり、組合体制の改革や組合後継者育成対策は柔軟な対応が求められています。組合存在価値の高揚と組合財源確保については、全国の事例を参考に事業展開を進めて行く事も必要と考えております。

役員一同は組合の発展に努力致しますが、いずれに致しましても今後も組合員が一致団結しより一層のご尽力とご協力を賜ります事が必要となっております。各事業の折には、引き続き御支援を賜ります事を心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、今年一年が電気工事業界や組合員様にとって、幸多き年となります事を心よりお祈り申し上げます、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。





奈良県電気工事工業組合

理事長 福本 幸一

新年あけましておめでとうございます。

関西工業会所属の組合員の皆様におかれましては、令和6年の辰年をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は3年以上も続いた新型コロナウイルス感染症が5月に季節性インフルエンザと同様の5類に移行され、低迷していた経済もようやく活気を戻してきたようです。見慣れたマスク姿も少なくなり、10月以降は入国者数上限が撤廃され、中国の団体客は未だに規制されているものの、訪日外国人数は概ね右肩上がりの回復をみせ、観光業の売り上げはコロナ禍前の水準に戻りつつあります。

しかし、建設業界においては5年間猶予のあった働き方改革での労働時間の上限規制が、令和6年4月から適用される予定で、この影響により建設業界の人手不足は益々悪化し、技能労働者の賃

金は引き上げられることになると考えられます。また、2012年度より10年間で労務単価は6割上昇し、今後も現在の水準からさらに上昇していくものと考えられます。そして急激に進んだ円安による生活物資や建設資機材の高騰等、経済活動に深刻な影響が広がる一方、カーボンニュートラルの実現に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)や、デジタルトランスフォーメーション(DX)等の新たな時代の課題にも対応しなければならず、いつの時代も課題は山積みであります。このような課題一つ一つの解決に向け組合員皆様と想いを共有し、一丸となった運営を目指していきます。

本年も技術者不足や組合員減少への対策を重点課題とし、そして次代を担う後継者育成の為、組合員皆様のご意見を頂き、必要とする事業を行い、期待に応える一年にしたいと思います。本年もご協力よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、天高く昇る竜に守られる辰年は「強運」という言い伝えがあり、景気が良くなると言われております。本年が組合員皆様方の実り多き良き年に成りますとともに、益々のご発展、ご健康と安全を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



滋賀県電気工事工業組合

理事長 鹿野 敏夫

新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、社会全体に閉塞

感が漂う中、3月に行われましたWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)において侍ジャパンが見事世界一に輝き、日本中が歓喜に包まれた出来事がまず思い出されます。

日本人の結集したときの力、最後まで諦めない気概、それらが一つになって躍動する姿を目にし、誇らしさと感銘を受けました。

一方、あらためて世の中に目を向けますと、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ

紛争など世界の分断と対立の姿が見え、世界の行く末に大きな不安を感じざるを得ません。

経済面においても新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、訪日外国人観光客の増加などやや復調の兆しが見えつつありますが、依然としてエネルギー価格の上昇や原材料不足、食料品をはじめとする諸物価の高騰など、私たちを取り巻く環境は、大変厳しいものとなっております。

滋賀県電気工事工業組合では、これら社会生活に不安を感じている多くの人々に安心安全を安定して届けるため電気工事業者としての責務を果たしてまいりたいと思っております。

そのためにも、後継者の育成、技術力の向上、働き方改革など安定した経営環境を構築するため、組合として一層力を注いでいかなければならないと考えております。

これからも電気工事業界の発展のため、組合員一同、全力で取り組んでまいり所存ですので、昨年にも増して関係各位のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

結びになりましたが、この一年が皆様方にとりまして、夢と希望にあふれた輝かしいものとなりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



理事長 谷本 宗城

年頭所感



和歌山県電気工事工業組合

みだが、遠く昔のことで定かではありません。これからの組合組織の在り方を検討中の本工組に於いては、組合員の確保、人材育成、財政改革と難題が推積しているところであり、膠着状態が続いています。

この問題を一步でも前に進めていくには青年部の行動力、そして発想力を十分に発揮して頂き、本工組全体のボトムアップに貢献して頂くと思っています。

全日電工連では青年部に加えて、青年部OBや女性部会の皆様に活躍して頂くことに期待をしているのですが、本工組も大いに期待しているところです。

結びに、本年も皆様の更なるご活躍、ご健勝を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年11月に神戸市内で行なわれました、第13回関西電気工事工業会青年部連合会 会長 小林幸二様の下、会員大会が盛大に開催され、私も出席させて頂きました。青年部皆様の活力みなぎる様子を目の当たりに体感しました。

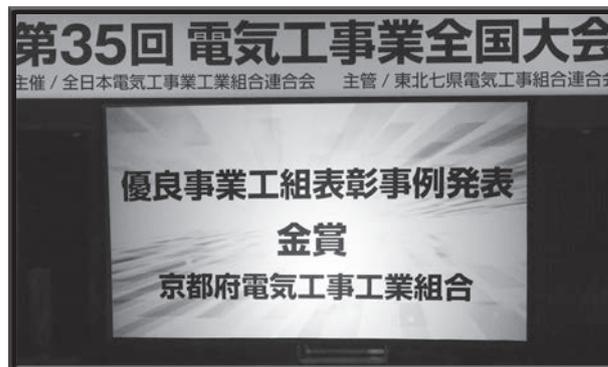
あのエネルギーは、若さゆえあふれてくるものだろうと、かつての自分自身に当て嵌めて考えて



第35回電気工事業 全国大会 (東北・福島大会)



大会式典会場福島市音楽堂



優良事業工組表彰事例発表(京都工組)



優良工組表彰・京都工組津田副理事長



優良事業工組発表
楠元センター長

令和5年10月25日(水)・10月26日(木)に福島県JRA福島競馬場、福島市音楽堂を会場として、第35回電気工事業全国大会(東北・福島大会)が全国から1600名の電気工事業関係者が一堂に介し開催されました。

関西ブロックからは、植田会長はじめ116名(青年部:68名)の所属組合員の皆様が各種イベントに積極的に参加されました。

「持続可能な社会」をつくる 強く頼もしい電気工事業への挑戦!」を大会メインテーマに始まった大会は、1日目(10月25日)の午後からは、JRA福島競馬場の会場において意見交換会が開催され「どうする」から「こうした・こうなった」へ繋げるをテーマとして活発な意見交換がなされました。

2日目の午前の部ではJRA福島競馬場のピーチプラザにおいて「組合活性化研修会」の優秀事業事例の発表が行われました。午後からは、会場を福島市音楽堂に移し大会式典が行われ開会宣言に始まり、全日電工連 米沢会長の挨拶、来賓挨拶、各種

功労者表彰と式典は流れて行き、第6回優良事業工組表彰では、京都府電気工事工業組合が金賞を受賞されました。受賞後取組テーマ「京都電気安全サービス京都調査センターの業務改善」について発表されました。

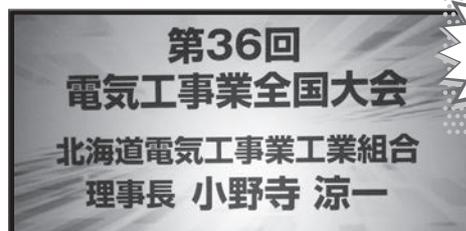
その後、「青年部優良活動」及び「意見交換会」の発表、大会決議が行われ、第5回電気工事技能競技全国大会の紹介、次回開催地(北海道・札幌)の紹介があり閉会となりました。

大会後の交流会では、東北の美味しいお酒をいただきながら懇親を深め、和やかな中、盛会のうちにお開きとなりました。



意見交換会挨拶
植田総合政策会議議長

式典挨拶
米沢会長



第36回大会北海道札幌市

次回
開催地
決定

関西電気工事工業会青年部連合会 第13回会員大会

テーマ「THE VALUE OF HUMAN CONNECTION」

今こそ繋がろう！これからの電気工事業界の為に！



主催者挨拶
小林青年部会長

平素は関西電気工事工業会青年部連合会の活動において多大なるご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。令和5年11月11日に行われました第13回会員大会にご参加いただいた関西電気工事工業会植田会長をはじめ各府県の理事長様におかれましてはご多忙の中ご臨席を賜りまして誠にありがとうございました。

今回の会員大会では、青年部会員75名・ご来賓15名・メーカー様17名、そして本会入会者で青年部未入会者・本会未入会で青年部対象者をゲストとして28名参加頂き、業界が抱える問題や業界の未来について限られた時間ではありますが語り合うことができました。

我々工事組合が抱える課題として、会員数の減少が大きな課題となっていますが、そもそもなぜ会員が減ることが問題なのか？という事ですが、これからの電気工事業界を引っ張っていく世代が工事組合や青年部というステージで切磋琢磨し成長することが組合運営そして業界の発展に繋がることと考えます。諸先輩方から受け取ったバトンを次の世代にしっかりと渡すことも我々に与えられた使命だと思っておりますので、これからも一人でも多くの仲間を作っていきたいと思っております。最後になりますが、引き続き青年部活動においてご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



意見交換会風景

参加者集合写真



TOPICS

兵庫県電気工事工業組合

広報誌の新たな取り組み

兵庫県電気工事工業組合 広報委員会

兵庫県電気工事工業組合の広報誌「ひょうでん」では令和5年10月号より表紙で入社数年以内の方を紹介しています。

「推しの新人!!」と題し、業界に入ったきっかけや現在の仕事内容、楽しかったことなどを掲載しています。

高齢化社会が進み、組合の平均年齢も上がる一方、若年層の数が減少し、今後の業界は前途多難な状況が続いています。

兵電工の広報誌では、特に組合員への情報の伝達や活動の報告に力を入れ、以前より地元に着した行事や施設などの紹介を表紙に記載していました。令和5年度の広報委員会会議で表紙の新しい題材について検討したところ、「入社数年の方の紹介」「昔

の体験や経験の話をインタビュー形式で掲載」「工具・工事の際の注意喚起等の紹介」などの案が出ました。

業界の若者の活性につながればと期待し、表紙は冒頭の「推しの新人!!」に決定しました。通常でしたら1年単位で新しい題材を考えていましたが、当面の間は続けていきたいと思えます。

またそれとは逆に、「温故知新」とした年配の方の、これまでの苦労話や取り組みなどを支部コーナーで取り上げ、これからの事業の参考にできればと思えます。

これからも試行錯誤しながら、よりよい紙面にしていきたいと思えます。



ニューリーダー紹介

奈良県電気工事工業組合 株式会社 五伸 巽 俊憲
 青年部 副部長 代表取締役



●ごあいさつ

弊社は、1981年に五伸電設として創業し、1996年9月に株式会社五伸を設立しました。主な事業としては奈良県及び市町村の公共工事、民間工事（高圧受変電設備、一般電気工事、消防設備、通信工事等）を行っています。

時代に沿ったお客様のニーズに対応していく努力を惜しまず、電気工事業を中心に様々な分野を通じて、より良い暮らし・環境・安全に貢献し必要とされる企業でありたいと考えております。

●ニューリーダーの思い

電気工事業は社会インフラに関わる仕事や地域に密着した仕事など多岐にわたります。その社会インフラ整備や地域のお客様にご満足いただける仕事を行うにあたり人手不足は深刻な問題です。また2024年4月1日より電気工事業（建設業）も働き方改革関連法案による制限が適用され、実現に向けて様々な問題があります。

しかし昨今ではSNSを活用した求人活動が盛んに行われ自社をアピールする事ができ、またDXを活用することにより業務の効率を向上させ、社員教育や訓練もできるようになってまいりました。このように活用できる様々な情報を組合員の一員として組合活動を通じ情報交換ができるようになったことに感謝しかありません。

今後も組合活動に、人が集まり、技術が集まり、それにより社会から注目が集まるよう邁進してまいりたいと思います。

会社概要

会社名	株式会社 五伸
設立年月	平成8年9月
会社所在地	奈良県五條市野原東5丁目3番25号
主な事業概要	電気設備工事 電気通信設備工事
代表者	代表取締役 巽 俊憲
資本金	2,000万円
社員数	24名

プロフィール

① 年齢	45歳
② 星座	おひつじ座
③ 血液型	B型
④ 住所	奈良県五條市
⑤ 家族構成	妻 長男 次男
⑥ 趣味	ゴルフ、旅行、YouTube鑑賞
⑦ 家族へ一言	一緒に居られることに感謝
⑧ 座右の銘 (または好きな言葉)	りくりよくきょうしん・若い社員さんに教えられ、 戮力協心 感銘を受けました。



社屋



夜間高所作業の様子



ユーラの
 一気飲みは
 きつい!

青年部総会にて



あいしょうちょう 滋賀県愛荘町ってどこ？

滋賀県電気工事工業組合 副理事長 中嶋 義治



皆さんは、日本のことをどれくらい知っておられますか？

もちろん、京都や東京などの有名な観光地は知っておられるでしょう。でも、それだけではありません。日本には、まだまだ知られていな

い魅力的な場所がたくさんあります。その一つが、私の生まれ育った滋賀県愛荘町です。

愛荘町は滋賀県の中央部（ひこにゃんのいる彦根市と、たねやさんで有名な近江八幡市の間）に位置し、滋賀県全体の約1%を占めています。平成時に2町が合併してできた、人口約2万人の小さな町です。

鈴鹿山系からの豊かな清水と自然に恵まれ、古くから水との関りが深く、この地形が農業をはじめとするさまざまな産業を発展させました。

近年は、移住者も増え、「人口増加」の町です。

さらに、町東部の山際には名神高速道路が、西部に広がる湖東平野には中山道と国道8号線、近江鉄道、東海道新幹線が南北に縦断しており交通の要衝地でもあります。名神高速道路の湖東三山スマートインターチェンジもあり、名古屋へも大阪へも1時間半程度の、アクセス抜群のまちです。

そんな愛荘町の魅力を知ってもらいたく、様々な角度からご紹介したいと思います。

愛荘町では四季折々の自然を楽しめます。春におすすめは、依智秦氏の里古墳公園の桜。また宇曾川沿いには桜並木が連なり、サイクリングロードも整備されているので、桜の中を自転車で走ると心地よい風が気分爽快です。

初夏には岩倉川にホテルが舞い、夏には名水と美しい自然に癒される宇曾川ダム・宇曾川溪谷・山比古湧水・観音菩薩の滝など、マイナスイオンたっぷ

りの空気が味わえます。秋には、金剛輪寺の紅葉、本堂脇の「血染めのもみじ」と呼ばれる真っ赤な紅葉は特に美しいです。冬には雪景色が広がります。

次に歴史・文化についてです。愛荘町には、古墳や社寺などの歴史的建造物が数多く遺されています。

< 金剛輪寺 >



弥生時代から古墳時代にかけて造られた大小さまざまな古墳が依智秦氏の里古墳公園で見られます。社寺では、湖東三山として知られる金剛輪寺。聖武天皇の勅願により行基菩薩が開山されました。本堂は鎌倉時代の和様建築物とし国宝に指定され、堂内にも御本尊をはじめ多くが国の重要文化財に指定され、本坊明壽院の庭園は国の名勝に指定されています。また豊満神社では全国でも珍しい美人祈願を行っています。恐竜の木・美人の木・勝運伝説の竹藪・ハート石などいろいろなパワースポットがあります。

また、愛荘町を通る中山道65番目の宿場町「愛知川宿」は交通の要衝地であり豊かな清水に恵まれたことから、ものづくり・職人文化が発展し、国の伝統的工芸品に指定されている、「近江上布」を中心とした麻織物や、地酒などの発酵文化。また、瓶のなかにてまりが入った不思議で美しい滋賀県伝統的工芸品「愛知川びん細工てまり」などの手仕事文化を生み、今も息づいています。現在でも宿場町のお

<愛知川びん細工てまり>

もかげがまちの所々にのこっています。どっしりと構える常夜灯や脇本陣跡の石碑がその代表で当時をしのばせています。

また、愛荘町のグルメ・特産品もたくさんあります。300年以上受け継がれてきた伝統野菜「秦荘のやまいも」はお餅のような強い粘りが特徴で栄養もたくさん。町内でも限られた地域でしか栽培されていません。

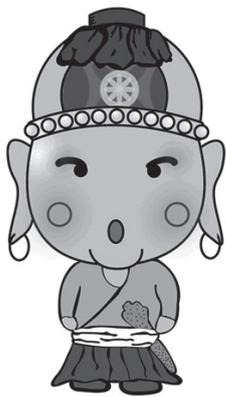


<ふるさと大使 ダイアンとあしょうさん>

<秦荘やまいも>



最後にイメージキャラクター、「あしょうさん」を紹介したいと思います。



出身地 滋賀県愛荘町（一説には、湖東三山の真ん中のお寺金剛輪寺出身ともいわれている）

誕生日 2月13日（永遠の5歳）

プロフィール

この地域に古くから伝わる愛知川びん細工てまりを兜に仕立て、伝統工芸品である近江の麻に身を包み、特産品の山芋をあしらった刀を腰にぶら下げています。日々、中山道の愛知川宿をはじめ町内を従来する人々の幸せを願っています。
あしょうさんに出会うと、心豊かに幾日も幸せがつづくのだとか・・・

性格 子ども好きなちょっとお茶目な男の子

愛荘町は、豊かな自然と歴史が織りなす、まさに日本の原風景を残す町です。訪れる人々にさまざまな魅力を与えてくれる町です。ぜひ一度、訪れてみてください。

ぞんせつ

でんせつ編集委員会

発行日/2024年1月1日 第212号
発行/関西電気工事工業会(2府4県)
大阪市北区本庄東2丁目3番38号
TEL 06(6371)5534・FAX 06(6371)2338
発行人/植田 隆夫 事務局 藤澤 幸夫

委員(大阪) 杉浦 秀二
委員(京都) 赤島 貞宏
委員(兵庫) 小塩 哲三
委員(奈良) 栢田 幸吉
委員(滋賀) 藤本 一矢
委員(和歌山) 吉川 幸夫

発行部数 6,040部 年4回(1・4・8・11月)発行